

令和元年度文部科学省委託事業「がん教育総合支援事業」報告書

学校等名 長崎市立長崎商業高等学校 担当者名 奥浦 大  
 電 話 095-887-1511 F A X 095-887-1526

実施日	令和 元年 11月 20日(水)		13:00 ~ 16:00		
場 所	長崎市立長崎商業高等学校 体育館				
講座名	保健講話 -がん教育-				
講 師	中尾 勘一郎 氏				
近隣校への案内	案内先 : 特にありません 計 校				
参加者	児童・生徒 学年	学校職員	保護者	他校職員等	その他 ( )人
	( 699 )人	( 60 )人	( 0 )人	( 0 )人	( )人
テーマと内容	「がん」と生活習慣病」・・・「がん」は日本人の死因の上位にある病気であり、二人に一人が罹患する可能性がある。死につながる怖い病気ではあるが、死の直前まで会話や思考が可能な病気である。「がん」という病気から命の大切さを学ぶ内容である。				

＜当日の様子＞ \* 事業の様子等を必ず画像で添付してください。



＜講師からの指導や助言・成果＞

「がん」は、現在の日本人の死亡原因の多くを占めており、二人に一人は「がん」で死亡している。とても怖い病気ではあるが、早期発見・早期治療が大切である。また、死の直前まで会話することができるため、家族をはじめ周囲の理解があれば、「死」に対する準備ができる病気であるという内容が印象に残っている。

生徒の感想にもあったが、多くの生徒が「がん」という病気を正しく理解し、今後さらに健康に気を付けるとともに、がん患者が過ごしやすい環境作りもしなければいけないと感じたようで、生徒の「がん」に対する意識が高くなる講話であった。

＜今後の取組及び課題＞

がん教育の大切さが理解できる講話であった。本校では教科・保健の中で、生活習慣病の1つとして学習はするものの、「がん」を特化して学習ができていない。「がん」について正しく学習する機会を作っていきたい。